



目次

団体会員訪問 地域環境活動を聴く(3) 「株式会社カワモク」2 社会環境部会からの活動報告(2題)	3-4
会員からの活動報告(1題)	4
川越市環境行政の動き	5-6
理事会・専門委員会からの報告	6-8
おしらせ	9-12

我が家の小さな水辺のビオトープ



我が家の玄関先には直径 50cm ばかりの睡蓮鉢があります。3年ほど前にクレアモールの瀬戸物屋の店先で一目ぼれして買い込んだものです。鉢の底には川砂をたっぷり敷き、後方には野生のショウブとセリを植え込み、中央部には園芸店で買い込んだスイレン一株を鉢植えにして沈めてあります。夏になればショウブやセリに白い花が咲き、スイレンは

濃いピンクの花を次々に咲かせます。水中には沈水植物のマツモが育ち、クロメダカとスジエビが生息しています。水際にはカワニナとヒメモノアラガイが数多くへばり付いています。

日当たりがとてもよい場所なので緑藻が育ち、ミジンコも繁殖してメダカたちやカワニナたちの餌になり、糞はスイレン等の肥料になっているようです。すなわち、この小さな世界でも食うか食われるかの食物連鎖が起きて、生態系が出来上がっているのです。いわゆる「野生の生きものたちが、お互いに関係しながら生息している場所＝(ビオトープ)」なのです。

ぜひみなさんもトライしてみてください。管理のポイントは、汲み置きの水を、こまめに供給していくことです。

かわごえ環境ネット理事・自然環境部会代表 大辻晃夫

団体会員訪問 地域環境活動を聴く (3)

「株式会社カワモク」



川越の町中で人が走っている感じのロゴマーク（写真）を付けた自動車によく出会います。

「株式会社カワモク」の車両で、かわごえ環境ネットの事業者会員でもあることから、興味が高まり今回の訪問になりました。

明治2年川越六軒町にて木材業「丹徳材木店」を創業、以来川越を中心に広く事業を続け、材木販売から設備資材、そして総合建設業として発展。建設部門を分社化して「川木建設株式会社」を設立、今では個人住宅・マンション・商業ビルの建設、メンテナンスサービスと広く事業を展開、カワモクグループとして、138年の歴史を持つ会社となっている。とカワモクグループの明石総務部長からお聴きしました。

社員は70名、地域との繋がりを大切にした事業展開を進めている。「お客様に喜んでもらえることを喜びとする。仕事を通じて自己実現をはかり、自分自身の成長と会社の発展を一致させる。地域のつながりを大切にし、地域の信頼をもとに地域社会に貢献します」を経営理念として事業を進めています。と語ってくれ、全ての社員が持つ理念カードをいただきました。

環境問題には事業全体で取り組み、ISO9001の認証を2000（平成12）年に取得、2006（平成18）年2月に「チーム・マイナス6%」活動に参加、一人ひとりのアクションプランとして、地球温暖化防止の京都議定書で定められた、温暖化を抑止するCO₂削減に社員・会社取り組み努力を重ねています。クールビズや、アイドリリングストップ、ゴミの分別など自分たちで出来ることを積極的に実行している。

また、住宅プランの提案にも体に優しい自然素材の家造りで、ムク材の使用、壁材には珪素土を使い調温、脱臭、安全、子どもがすすくと育つ家の提案を行っている。

応接カウンターを覗くと手書きカラー印刷の「かわもく通信」が置かれていた。手に取り読み出すと、写真とまんが絵が入った暖かみあふれる紙面で、社員とお客様への通信でした。編集は、入社2年目の女性社員の中林さん。隅のコーナーに、川越ケーブルテレビに、企業とそこで働く社員にスポットをあてた紹介特集が放映された。と書かれ紹介されている。



六軒町の材木置き場に立ち寄り、木の香りを嗅ぎながら写真撮影。ケヤキで年輪60年位の切り出したばかりの原木を見せてもらいました。

「農家の裏庭に立っていたが、母屋の新築で伐採、幹は曲がりど、割れが入り柱としての利用ムリかも」と案内してくれた社員の方が話してくれました。このケヤキは多くのCO₂を吸着、酸素を作り出す役割を終わり、人と社会への用材としての役立ちにと替わることになる。

未来に向けて、人が暮らしやすい地球にと温暖化防止の「チーム・マイナス6%」への努力が始まったカワモクグループでした。

（2007年9月訪問取材，広報委員：金子晃）

埼玉県からのバイオマス出前講座

社会環境部会



いま話題となっている「バイオマス」について、埼玉県農林部農産物安全課バイオマス担当職員の齋藤、木下氏を招いて、8月22日の午後、市民会館会議室で出前講座を行いました。かわごえ環境ネットから、小瀬理事長、村上、横山副理事長、その他会員5名が参加しました。

バイオ（生物資源）を有効に活用して資源循環型社会をつくる構想は多岐にわたっています。

生ごみ、落葉、家畜糞、建築資材の廃棄物、稲わら、もみがら等の未利用資源、トウモロコシ、大豆、菜種等の資源作物などを組み合わせて、バイオエタノール、バイオディーゼル、バイオプラスチック、良質の堆肥、さらに飼料化等、これからの取り組みが期待されています。

特に食品リサイクルについて、県内で取組んでいる20例をまとめた事例集をもとに説明を受けました。久喜市の8,600世帯、狭山市の4,400世帯などの大規模堆肥化事例から、小グループの取り組みまで幅広く紹介され、地域の事情に即してさまざまな工夫がなされている実情がわかりました。

講師の齋藤さんは、南古谷でブロッコリーの有機栽培を実践しています。その経験から、川越市の生ごみ堆肥化の促進についての助言を期待して出前講座を終わりました。

（社会環境部会：武田侃蔵）

第15回「生ごみリサイクル交流会2007」に参加

社会環境部会



「生ごみは宝だ」を合言葉に、「生ごみリサイクル交流会2007」が、さる8月28日に、早稲

田大学国際会議場で開かれました。全国から500人近い人が集まり、午前の全体会議、午後は4分科会を行い、かわごえ環境ネット社会環境部会から4人が参加しました。

午前の全体会議は、長野市の郊外にある高山村の取り組みが紹介されました。現在は3分の2が非農家になっていますが、家庭から出る生ごみに農家の家畜ふんや廃おが粉などを混ぜて、堆肥化センターで優良堆肥にし、稲作、リンゴ作りに利用、全村挙げて資源循環と環境保全に取り組んでいる事例を村民が率直に語り、会場の共感を呼びました。

次いで、財団法人日本土壌協会専務理事の猪俣さんから、全国の事例によるデータを使って、農家に喜ばれる優良堆肥作りの必要性を強調、また、これを使った農産物が消費者に歓迎される健康食品になり、資源循環型社会の実現を示唆する貴重な講演でした。

午後は次の4分科会に分かれました。

1) 第1分科会「市民と行政の協働で生ゴミ減量・堆肥化推進」

最初は「有機循環都市を目指して生ゴミ堆肥化推進」と題して、名古屋市郊外の豊明市の環境課から津田さんの発表がありました。生分解性のプラ袋で回収し、1日3トン进行处理する堆肥センターの建設、できた「とよあけEco堆肥」の販売と先頭にたって推進してきました。2008（平成20）年度までに市の26,800世帯の約30%の8,000世帯の生ゴミ回収を目標にしています。次いで、埼玉県戸田市から、「フェルトガーデンで花あるまちづくり」運動が、市環境クリーン室の大山室長、吉田副主幹、パートナーのNPO戸田EMピープルネットの池上事務局長から、壁面緑化、屋上緑化、道路美化、河川浄化、生ゴミ堆肥化とパートナーシップ活動が報告されました。

2) 第2分科会「農家が喜ぶ良質堆肥で地産地消の環」

最初は福井県池田町の農林課辻さんが「活かせ農村力・・・紙袋と心でつなぐ食Uターン事業」で、次いで、長野県下諏訪町の(有)ドミソ環境の牧野さんから、周辺自治体より一般家庭の生ゴミリサイクルを受託処理している実情の報告があり、優良な堆肥として地元で歓迎されることが大事と強調されました。

3) 第3分科会「知恵を出し合って生ゴミリサイクル」

「自家処理の推進・・・手厚い支援でネット

ワーク化」で香川県の善通寺市生活環境課長の多田さんから、全世帯の80%が加入している「環境推進会」に行政が支援する「善通寺方式」で、「生ゴミゼロ作戦」展開の実情が報告されました。次いで東京の町田市で有機野菜作りをしているEM窪平さんから「生ゴミは燃やさない！全市の生ゴミ堆肥化をめざす」活動が、「ごみゼロ市民会議」に発展した経過を語りました。

4) 第4分科会「生ゴミ堆肥化Q&A」

生ゴミを資源として処理するために臭わない、虫がわからない清潔な環境が求められますが、NPO堆肥化協会理事長の瀬戸さんの「ムシや臭い、私の解決法、失敗を防ぐコツ」と題し、有用菌による発行促進の工夫が、また、東京都日野市のアレクサンドラ・C・シュワルツさんが「プランターで子どもと一緒に土遊び」を、NPO法人有機農産物・堆肥化推進協会事務局長の会田さんから「ベランダでできる生ゴミ堆肥化・・・コンテナ（園芸ボックス）を利用して」などの発表があり、個人でも手軽に実践できる例が報告されました。

豊かな自然の回復と食の安全のために、生ゴミのリサイクルの動きは避けて通れません。地域の実情に即しながら、行政と市民の工夫で進める必要を痛感しました。

（社会環境部会：原嶋昇治）

「まち美化」行動。まだまだ吸い殻が。

まち美化グループの「クリーン川越めざす会」では、10月からの「路上喫煙禁止地区内での罰則適用」を前に、9月22日（土）の午後1時半から1時間あまり、川越駅前から本川越駅までの路上喫煙禁止地区のごみ拾いをし、たばこの吸い殻の数を数えました。

クリーン川越めざす会

クレアモール通りで398本、八幡通りで219本、バス通り横の裏道136本でした。しかも、きれいにしたばかりの裏道で、帰途にまた8本拾いました。喫煙者には1人しか会いませんでしたが、吸い殻の数から見ると、条例の徹底には努力が必要のようであります。（武田侃蔵）

川越市環境行政の動き

温暖化対策条例及び環境行動計画の意見募集（パブリック・コメント）は10月9日まで

川越市で制定を進めている「(仮称)川越市地球温暖化対策条例」と「(仮称)環境行動計画『かわごえアジェンダ 21』」について、幅広い市民の意見を求める意見募集が10月9日まで行われています。

本会会員のみならず、多くの市民の積極的な応募をお願いします。本会会員には、9月10日付

で(仮称)環境行動計画「かわごえアジェンダ 21」(素案)及び意見提出用紙をお送りしています。また、条例及び計画の内容は、市役所・支所等において閲覧することができます。川越市ホームページにも掲載されているので、いずれかの方法でご覧の上、ご応募ください。

(小瀬博之)

新清掃センター附設のリサイクル処理棟建設工事契約、議会で承認

新清掃センターの熱回収施設に附設される、リサイクル処理棟建設工事契約が9月市議会に提案され、6日の本会議及び19日の厚生委員会で質疑がなされ、26日の本会議で議決されました。神鋼・岩堀・三沢屋・梶野・佐伯のJVが、税込み27億480万円で請け負い、工期は2010(平成22)年3月15日までで、本体の熱回収

施設と同時竣工になります。粗大ごみやびん・かんなどを1日53トン処理するもので、リサイクル率の向上、仕様書の性能確認、人手のかかる前処理作業の工夫など、細かい点まで質疑が交わされました。現在実施設計を進めている啓発施設、草木類資源化施設の建設で全工事が揃います。

(武田侃蔵)

路上喫煙防止条例の完全施行式典30日に

今年の4月から施行された「川越市路喫煙の防止に関する条例」は、市内全域で路上喫煙をしないように努力する義務を規定し、6月1日より、市の中心部を路上喫煙禁止地区に指定、啓発に努めてきました。10月1日より、今までの周知期間が終わって違反者に罰則を適用することになりました。

これで一連の啓発期間が終わって条例の完全施行となり、前日の9月30日(日)10時より

川越駅東口のペDESTリアンデッキで「条例完全施行記念式典」が行われます。舟橋市長のほか、川越市自治連合会、川越市環境推進員協議会、川越市煙草商組合、日本たばこ産業川越出張所の各代表が出席し、和太鼓「響」の子どもチームの演奏で式典を盛り上げます。なお、罰則は1万円以下の過料ですが、当面は2千円となっています。

(武田侃蔵)

「川越まつり」のごみ対策について議会質問

9月18日の市議会で、川口啓介議員(かわごえ環境ネット会員)が、昨年、一昨年の川越まつりのごみ拾いに参加した経験から、ごみ箱の不足と設置場所がわかりにくいこと、持ち帰るには邪魔なごみが多い実情に即した「きれいな街で川越まつり」の対策を質しました。昨年は

JTが「拾えば街が好きになる」運動で協力しましたが、今年は参加の予定がありません。市民ボランティアを10月10日号の市の広報で募集し、対策をとる予定であります。市民の善意が効果的に発揮できるような、行動計画と運用への対策が望まれます。

(武田侃蔵)

「緑のMYトラスト」県で大募集！

「さいたま緑のトラスト運動」として、ふるさと埼玉の優れた自然や歴史的環境の保全のために、県民の積極的な参加を求めている「緑のMYトラスト大募集」運動を呼びかけています。11月5日までが募集期間です。詳細は埼玉県環境部みどり自然課地球保全担当 (Tel.048-830-31

50) に問い合わせてください。また、川越市環境政策課窓口 (川越市役所本庁舎5階) と埼玉県ホームページ (<http://www.pref.saitama.lg.jp/A09/BD00/trust/mytrust.htm>) に案内資料があります。
(武田侃蔵)

彩の国環境大学修了生の会主催・「環境セミナー・In川越」10月28日に地方庁舎で

埼玉県の環境センターにある「彩の国環境大学」の修了生の会が主催する今年の環境セミナーが、10月28日に川越駅西口の川越市地方庁舎2階大会議室で開かれます。10時から環境展

示、午後1時からセミナーを予定しています。詳しい案内は川越市環境政策課窓口にあります。
(武田侃蔵)

理事会・専門委員会からの報告

理事会

第82回理事会は8月27日に開催されました。主な審議事項は次のとおりです。

- ・細則設定につき議事録から会則に関わる事項を抜粋し、会員と会則に係る事項について検討しました。定めなければならない事項が多くあり継続審議となりました。
- ・第6回かわごえ環境フォーラムについて審議し、本会が主催する環境活動報告会と川越市が主催する(仮称)川越市地球温暖化対策条例及び(仮称)環境行動計画「かわごえアジェンダ21」の報告および記念講演会を併せて開催することが承認されました。イベントに合わせて、本会を案内するパンフレットを新たに作成する必要が指摘されました。

・(仮称)環境行動計画(素案)の確認を行い、素案の内容で意見募集を行うことを承認しました。

・「かわごえ環境推進委員協議会」により、地球温暖化防止の啓発運動として、前アメリカ副大統領ゴア氏の講演をドキュメンタリー化した「不都合な真実」をスカラ座にて上映する予定であり、本会に協力を要請する予定であることが報告されました。

・9月30日(日)に開催されるアースデイ・イン・川越2007を本会として後援することを承認しました。

(広報担当理事：金子晃)

社会環境部会

第6回社会環境部会は、9月12日15時より市役所7G会議室で例会を行いました。参加者11名でした。

1) 地球温暖化対策グループからは、埼玉県主催の「エコライフDAYチェックシート」の第1次回収の本会会員の分の集計が齋藤さんから発表されました。9月30日のアースデイ・イン・

川越の会場でも来場者に記入してもらって、10月1日の最終締切までにまとめます。

2) 「ストップ温暖化SAITAMAフェア」に渡辺氏の電圧制御器のデータ発表と、齋藤氏の環境家計簿の展示が参加することになり、その概略が発表されました。

3) 生ごみ減量グループからは、8月22日の13:

30から、川越市在住で埼玉県環境関係職員の齋藤氏らの「バイオマス」についての出前講座と、8月28日に早稲田大学で開かれた「生ごみリサイクル交流会 2007」の報告がありました。いずれも本号で詳しい内容を掲載しています。

4) まち美化グループからは、10月20・21日に開かれる「川越まつり」のまち美化対策について提案がありました。今年は、川越まつりの主会場が路上喫煙禁止地区であり、10月からは罰則規定も適用されることになった事情から、P Rと啓発には行政任せでなく市民の積極的参加が必要と訴えました。これに対し「ごみ持ち帰り」「ポイ捨て禁止の県条例」「市の路上喫煙禁止条例」等の徹底的な啓発の行政責任が先では

ないか等の意見が出され討論になりました。1日に50万人以上が来る中では、原則と併行した対策が必要ではないか等議論が白熱しました。9月市議会で、川口議員から「川越まつりとごみ対策」について一般質問がありますので、市の対応も明らかになると思います。

5) 9月30日の「アースデイ・イン川越 2007」において、社会環境部会は、生ごみ資源化の啓発コーナーを設ける予定です。

6) パイオニアで11月6日の環境コミュニケーションには、金子大蔵さんが参加します。

7) 企画委員会から、12月2日の「里山保全と吾野宿エコツアー」の内容説明がありました。

(社会環境部会代表：渡辺利衛)

自然環境部会

9月7日(金)に、笠幡地区、北小畔川沿い「協栄用排水路の第2期多自然護岸工事打ち合わせ会」が西武自治会館で開催されました。出席者は川越市河川課2名、自治会長及び地権者13名、自然環境部会からは原嶋、菅野、大辻の3名が代表として出席しました。地権者の方々からは、前回工事の一部で底部洗掘による水漏れが起きたことなどから三面護岸方式を要望してきましたが、自然環境部会としては、今回は水路の幅狭いことも考慮して、川越市が提案した、生き物と植生に配慮したプレハブ水路に賛同し、これが最終的に決定案となりました。

「9月度・自然環境部会」が9月14日(金)に川越市役所地下修養室で総勢9名の参加で開催されました。

●報告、討議内容

1.仙波河岸史跡公園

近隣自治体からの要望書(防犯、蚊の駆除)が提出され、公園整備課への負担が大きくなっている。10月初旬に川越市及び自治会と話し合いを予定している。部会としては活動3年を迎え、10月20日予定の自然観察会及び保全活動で最後にする。ただし、独自の観察会とパトロールは継続して行く。

2.郭町浄水場南側湧水池の公園化

市議会で、地元議員による公園化への質疑応答があり、自然環境部会としても3年前に要望書を提出し前向きに検討するとの回答を受けている経過もあるので、現状確認のため、話し合いの場を設定したい。流れとしては、行政、近隣自治会、住民、本会による公園化への話し合いを考えたらどうか。

3. 2007年度事業計画予定表の確認、見直し。

担当者、実施項目、備考欄の訂正、付け加えを行う。

4.雨水浸透対策推進に関する質問及び要望事項の確認

鏡山酒造の項目は削除する。

●今後の活動について

1.かすみ湧水堀 9月26日(水)霞ヶ関西中学校の2年生99人に総合学習の協力(ビオトープの話と現地視察)

2.東吾野小学校の訪問と武州ガス社有林の視察を10月17日に行う。詳細はおしらせにて。

3.アースデイ・イン・川越について 9月28日打ち合わせ、9月29日・30日の詳細を決定する。

4.11月7日(火)にパイオニア(株)川越事業所にて開催される環境コミュニケーションへの参

加。

●その他

9月15日(土)に「第17回・仙波河岸史跡公園、自然観察会及び保全活動」が開催されました。今回は講師として谷津さんをお招きして昆

虫の観察会と河岸跡の水質調査を行いました。参加者は総勢17名でした。詳細は次号で報告いたします。

(自然環境部会代表：大辻晃夫)

企画委員会

第7回委員会では、12月2日に武州ガス(株)が所有している雑木林における保全体験実習計画を作成しました。予備調査した結果、雑木林の保全作業は重労働であり、初心者者の長時間作業は難しいということで短時間としました。午後計画していた木のリサイクル施設は枝打ちした木との関連性がなく、土日は稼動していないことで、今回の計画から除外しました。しかし

代替案として吾野宿の町並みを残す西武線吾野駅近くを散策するプランが検討されました。結局「里山保全と吾野宿エコツアー」という計画名とすることが決定されました。10月25日号の川越市の広報に掲載され、11月1日より募集を行います。お気軽にお越しください。

(企画委員会代表：村上正明)

(仮称)環境行動計画「かわごえアジェンダ21」作成委員会

第8回会議は9月4日に行われました。

川越市で9月10日から10月9日まで行うパブリック・コメントにおいて公表される素案の確認を行い、これまで審議してきた内容からの追加・修正点の確認を行うとともに、今後の検討課題について審議しました。

2月24日に行われる「第6回かわごえ環境フォーラム」では、午後にかわごえアジェンダ21策定に関連する記念行事を予定しており、その進捗状況について報告がありました。

チェックシート(市民編)を、研究目的で9月30日のアースデイ・イン・川越2007において、試行的に来場者に実施することを確認しました。

パブリック・コメント実施後のスケジュールを決定しました。

本委員会の記録等、詳しい内容は、かわごえアジェンダ21Wiki(<http://kawagoekankyo.net/wiki/>)に掲載しております。ぜひご覧ください。

(アジェンダ作成委員長：小瀬博之)

第6回かわごえ環境フォーラム実行委員会

第1回会議が8月27日に、第2回会議が9月25日に開催され、今後の実施内容について検討を行いました。

期日は2008年2月24日(日)で、川越市が主催する(仮称)川越市地球温暖化防止条例及び(仮称)環境行動計画「かわごえアジェンダ21」の策定報告会及び記念講演会と一緒に開催することになりました。会場は、やまぶき会館会議室及び中ホールとなります。

例年行っている環境活動報告会は、発表要領

と、発表募集、応募締切、投稿期限のスケジュールを設定しました。

午後に行う策定報告会及び講演会の内容及び講演者を検討しました。最終的には、川越市が選定を行うことを確認しました。

学校への協力については、発表形式を勘案し、関係各位に個別にあたっていくことにしました。

協賛については、昨年の企業・団体への協力を求めるとともに、新たな企業・団体への協力を検討することになりました。(小瀬博之)

おしらせ**「アースデイ・イン・川越 2007」を9月30日に鏡山酒造跡地で開催**

9月30日(日)10:00-15:00に鏡山酒造跡地(本川越駅より徒歩3分)で9回目となる「アースデイ・イン・川越 2007」が開催されます。本会はもちろんのこと、今年は埼玉県青空再生課の参加もあって、地球温暖化防止の啓発活動の盛り上げに貢献できそうです。キャッチコピーも「アチチ!地球が熱を出しているよ。僕と私が地球を救う!」と若い世代の提案が採用され

ました。川越市でも地球温暖化防止条例」の制定を準備していますので、最高のPRイベントになるようです。パフォーマンスもフォルクローレに津軽三味線も加わり、多彩なイベントとなります。また、昭和蔵も開放されてフリーマーケットの会場になり、リサイクルの輪が広がります。有機野菜販売コーナーもあって楽しい企画がいっぱいのアースデイとなります。

10月14日(日)のストップ温暖化SAITAMAフェアにかわごえ環境ネットが出展

10月14日(日)10:00-16:00にさいたま新都心駅コンコースで開催される「ストップ温暖化SAITAMA」フェアに、昨年に続き今年もかわごえ環境ネットが出展します。出展内容は、家庭での地球温暖化防止の取り組みとして、本会会員の渡辺利衛さんの電圧制御器のデータ発表と、齋藤眞之助さんの環境家計簿の成果発表で

す。他にもたくさんの団体が出展し、イベントも盛りだくさんです。ぜひご参加ください。なお、昨年イベントの様子が埼玉県ホームページに掲載されています。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A09/BE00/ecolife/fair.html>

10月17日(水)にホテルの里づくりに関する見学会を開催

自然環境部会にて昨年度から行っているホテルの里づくり活動の一環として、飯能における野生のホテルが自然発生する山間の溪流と、校内に沢の水を引き込んだ人工の流れでホテルを飼育している生徒たちの活動を見聞する見学会を企画しました。ぜひご参加ください。

日時：10月17日(水)8:30-16:00

集合：JR川越駅改札前8:30

コース：西武池袋線東吾野駅から東吾野小学校、ホテル発生の沢、武州ガス(株)所有林を徒歩で

巡る(移動時間約70分を含め、所要時間約3時間45分を予定)。

参加費：100円(保険代)、ただし、交通費は自己負担

持ち物：飲みもの、昼食、筆記具、雨具、帽子、軍手など

申し込み：10月14日までかわごえ環境ネット事務局(環境政策課環境推進担当、Tel.049-224-8811内線2612、Fax.049-225-9800)

川越まつりの清掃美化ボランティアにご参加ください

10月20日(土)・21日(日)に、川越まつりが開催されます。多くの見物客でにぎわうこの祭りでは、ごみ対策が大きな問題となっています。また、10月1日からの川越市路上喫煙の防止に関する条例の罰則が施行され、従前から埼玉県ごみの散乱防止に関する条例が施行されて

います。川越市では、清掃美化ボランティアの募集を行い、かわごえ環境ネット及び団体会員のクリーン川越めざす会もこの行事に協力します。みなさまのボランティアにご協力ください。詳しい要項は、広報川越1160号(平成19年10月10日)に掲載されますのでご覧ください。

秋の自然観察会を仙波河岸史跡公園と（仮称）川越市森林公園計画地で開催

10月20日（土）9:00-12:00に、仙波河岸史跡公園において自然観察会及び保全活動（当日直接会場）、10月28日（日）9:30-12:30に（仮称）川越市森林公園計画地において秋の自然観察会（10月2日よりかわごえ環境ネット事務局へ電話で参加申込）を開催します。少し寒さを感じるころになりますが、動植物も冬支度を始めよ

うとする観察日和です。川越の自然に詳しくなりたい方、散策してみようという方はぜひご参加ください。なお、どちらの行事も保険代として100円が必要になります。なお、これらの行事は、広報川越1159号（平成19年9月25日）18ページにも掲載されていますのでご覧ください。

10月27日から11月9日に川越スカラ座で『不都合な真実』を放映します

特定非営利活動法人プレイグラウンドが運営する川越市役所近くの川越スカラ座（川越市元町1-1-1）において、10月27日（土）から11月9日（金）（火曜日定休・上映時間は14:00-18:00-）まで『不都合な真実』が放映されます。この映画は、アメリカ合衆国前副大統領のアル・ゴア氏の講演をまとめたもので、地球温暖

化の現状と将来を知り、一人一人がその対策に取り組むために重要な内容を含んでいます。そこで、本会でもこの放映に賛同し参加を呼びかけます。詳しい内容は、本会会員の郵送資料、または川越スカラ座ホームページ（<http://k-scalaza.com/>）をご覧ください。また、次号でも案内します。

【予告】里山保全と吾野宿エコツアーを12月2日（日）に開催

企画委員会では、飯能市にある武州ガス(株)所有林における里山保全体験と吾野宿を散策するエコツアーを12月2日（日）9:00-16:00に実

施します。広報川越10月25日号に案内を掲載し、11月1日より先着40名で申し込み受付を行います。詳しくは次号に掲載します。

10月の理事会・専門委員会及びイベントの開催予定

●会員全員が対象、◆の理事会・委員会は、特に記載がない限り委員が対象、★は会員内外を対象にした公開イベントです。イベントの詳細は個別の記事を参照ください。

●社会環境部会（2007年10月度）

日時：10月10日（水）15:00-17:00

場所：川越市役所地階修養室

（川越市元町1-3-1）

原則として毎月第2水曜日15:00-17:00に定例会を開催しています。次々回は11月14日です。

●自然環境部会（2007年10月度）

日時：10月12日（金）15:00-17:00

場所：川越市役所地階修養室

原則として毎月第2金曜日15:00-17:00に定例会を開催しています。次々回は11月9日です。

★ [出展] ストップ温暖化 SAITAMA フェア

日時：10月14日（日）10:00-16:00

場所：さいたま新都心駅コンコース

◆（仮称）環境行動計画「かわごえアジェンダ21」作成委員会（第10回）

日時：10月15日（月）9:30-11:30

場所：川越市役所3A会議室

◆広報委員会（2007年10月度）

日時：10月15日（月）12:00-13:00

場所：川越市役所5階 フリースペース

◆かわごえ環境フォーラム実行委員会（第3回）

日時：10月15日（月）18:00-20:00

場所：川越市役所 7G 会議室

★ホテル発生の溪流とビオトープ・・・武州ガス(株)所有林と東吾野小学校見学会

日時：10月17日(水) 8:30-16:00

集合：JR 川越駅改札前 8:30

見学先：東吾野小学校、ホテル発生の沢、武州ガス(株)所有林

★仙波河岸史跡公園自然観察会及び保全活動

日時：10月20日(土) 9:00-12:00

場所：仙波河岸史跡公園

(川越市仙波町 4-21-1)

◆(仮称)環境行動計画「かわごえアジェンダ 21」作成委員会(第11回)

日時：10月25日(木) 9:30-11:30

場所：川越市役所 3A 会議室

◆企画委員会(第8回)

日時：10月25日(木) 16:30-17:30

場所：川越市役所 3A 会議室

◆理事会(第84回)

日時：10月25日(木) 18:00-20:00

場所：川越市役所 3A 会議室

★[後援]『不都合な真実』放映

日時：10月27日(土) -11月9日(金)

(火曜日定休、上映時間は 14:00-と 18:00-)

場所：川越スカラ座(川越市元町 1-1-1)

料金：一般 1,500 円、学生・シニア(60歳以上) 1,000 円、小中学生以下 800 円

★(仮称)川越市森林公園計画地

秋の自然観察会

日時：10月28日(日) 9:30-12:30

場所：川越市南文化会館ジョイフル集合

会員・関係団体の主催行事・募集等

●(財)埼玉県生態系保護協会

川越・坂戸・鶴ヶ島支部

☞伊佐沼探鳥会

時間：10:00 集合-12:00

集合：伊佐沼の西側にある東後楽会館入口
近くの蓮見橋

参加費：300 円、高校生以下 100 円

(保険料・資料代として)

持ち物：飲み物・雨具・筆記具等、

できれば野鳥図鑑・双眼鏡も

◆10月14日(日)

カモの渡りが始まり、先発隊のオナガガモ、コガモが到着しました。今年も来てくれたことを歓迎しましょう。

◆11月11日(日)

先月から始まったカモの渡りは、大方の種類が到着しました。何種、何羽いるか数えてみましょう。夏の小鳥たちは、木の葉に隠れて見難いのですが、さえぎるものの無い沼でカモを観察するのは、誰にでも見られ、バードウォッチングを始めるのによい季節です。

以上の問い合わせ先：笠原啓一

Tel.049-222-0957

●特定非営利活動法人

武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

☞森林公園自然観察会

時間：10:20 集合、10:30-15:00

場所：国営武蔵丘陵森林公園 南口集合

参加費：200 円、他に入園料が必要

◆10月21日(日)・25日(木)

10月には可憐な白いセンブリの花やクモ類の観察をします。また、カケスやコゲラ等の野鳥が目立つ季節です。

◆10月11日(日)・19日(月)

11月には、紅葉が美しい季節なので、カエデ類の紅葉を太田先生の解説で楽しめます。また、木の実(ドングリ、アオハダ等)や野鳥も観察します。

以上の問い合わせ先：谷津弘子

Tel./Fax.049-224-9118

●クリーン川越めざす会

☞市の条例施行に合わせて「やめましょ
う！歩きタバコ・ポイ捨て・放置自転車」
のゼッケンをつけて、まち美化啓発運動

1. 第1火曜日・第2木曜日・第4土曜日
の13:30-15:00

◆10月2日(火)・11日(木)・27日(土)

◆11月6日(火)・8日(木)・24日(土)

場所：川越駅東口アトレ横歩道橋下集合。

市役所等まで活動。

2. 川越まつり特別対策

◆10月20日(土)・21日(日)

昼の部 10時より2時間ずつ

夜の部 17時より2時間ずつ

広報川越で市民ボランティア公募

鏡山酒造跡地に集合して随時活動

3. 第3日曜日・9:30-11:00

◆11月18日(日)

場所：本川越駅交番横集合。数コースに分
かれて中央公民館までまち美化活動。

以上の問い合わせ先：武田侃蔵

Tel.049-222-0786

●つるがしま環境ネットワーク

☞2007年環境講座「気象の変化と地球温暖
化を考える」

日時：10月6日(土) 13:30-

場所：鶴ヶ島市役所5階会議室

(鶴ヶ島市三ツ木16-1)

講師：井出迫義和氏(気象予報士)

詳細は鶴ヶ島市ホームページ

<http://www.city.tsurugashima.lg.jp/webkouhou/kyoushitsu/01.htm> をご覧ください。

☞第5回環境シンポジウム「テーマ：樹林
地・農地を活かした循環型の街を創るには」

日時：11月4日(日)

場所：鶴ヶ島市役所ロビー

以上の問い合わせ先：鶴ヶ島市役所

生活環境課環境保全担当

Tel.049-271-1111(内線216)

●特定非営利活動法人 荒川流域ネットワーク

☞荒川クリーンエイド2007

日時：10月7日(日)・10月14日(日)

10:00-12:00

荒川中流域での一斉清掃活動を実施します。

多くの団体のご参加を募りたいと思います
のでよろしくお願ひします。

問い合わせ先：鈴木勝行

Tel.049-285-6625

E-mail: arakawa@ara-river-net.jp

広報委員会からのお知らせ

●川越ケーブルテレビ「われら環境ネット」

10月の放映予定は、アースデイ・イン・川越
の運営を取り仕切っている YMCA とワイズメ
ンクラブを紹介します。9月30日の今年の行事
を中心に放映します。予定は10月20日(土)
から26日(金)までの「KOEDOちゃんねる」
で1日5回(7:40, 11:40, 16:40, 18:10, 22:10)
放映です。

●会員及び関連団体等の活動報告の投稿や行 事・募集に関する情報を随時募集

本会会員の活動報告を400字程度で、写真も掲
載可能です。また、本会会員や関連団体等が主
催する公開イベントや募集に関する情報を随時
受け付け。No.013(10月25日ごろ発行予定)
は、10月12日(金)までにかわごえ環境ネッ
ト事務局へ到着した原稿を掲載します。

月刊 かわごえ環境ネット 2007年10月 No.012

発行日 2007年9月28日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 川越市環境部環境政策課

Tel.049-224-8811(内線2612) Fax.049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

かわごえ環境ネットホームページ <http://kawagoekankyo.net/>